

兵庫県保険医設立40周年記念 第41回総会のご案内

6月14日(日)午後1時~/神戸国際会議場3階 国際会議室

(ポートライナー「市民広場駅」から徒歩5分)

■総会議事 午後1時~

2008年度会務報告、2009年度活動方針案 2009年度予算案、役員承認の件、ほか

■記念式典 午後2時20分~

■記念講演 午後3時10分~

「医療における倫理とその実践」

京都大学名誉教授

先端医療振興財団臨床研究情報センターセンター長兼研究事業統括

福島 雅典 先生



■記念懇親会 午後5時30分~ (参加費不要)

/ポートピアホテル 大輪田の間

健康情報テレホンサービス

〈6月のテーマ〉 通話料無料 (0120) 979-451



月曜日 うつりやすい結膜炎にご注意

火曜日 鼻や喉の病気と口臭

水曜日 心房細動とは

木曜日 夏に多い耳の病気

金土日 毛虫皮膚炎

※テレホンサービスは、協会ホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。

<http://www.hhk.jp/>

担当事務局が 変わります

6月から北阪神支部担当事務局が駒ヶ嶺から、小川に代わります。主担当は引き続き吉永です。よろしくお願ひします。



新任：小川 昭



退任：駒ヶ嶺 舞

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2009年5月25日号 No.193

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

<http://www.hhk.jp/>

兵庫県保険医協会第75回評議員会

協会は5月17日、協会会議室で第75回評議員会を開催。全体で102人、北阪神支部からは7人(中井通治支部長、脇野耕一、林宗茂副支部長、田中徹、西山茂樹、工藤大八郎評議員、小泉勇幹事)が参加した。討論での発言要旨を紹介する。

①支部活動の活性化について(林 宗茂先生)



北阪神支部の副支部長の林です。伊丹市で内科を開業しています。今回は「北阪神支部における支部活動の活性化」について、研究会活動、役員改選、運動面などからご報告したいと思います。

まずはじめに研究会活動ですが、幹事会では毎月、会員ニーズに即した企画に工夫を凝らしています。例えば医科・歯科一体の保険医協会の利点を活かした医科・歯科合同在宅ケア研究会は、発足から回を重ね、3月に開催した第4回の研究会では、「在宅での口腔機能管理の基礎知識」のテーマで歯科衛生士の朝田美鈴氏が講演されました。摂食・嚥下のメカニズムをはじめ、特に高齢者の口腔内衛生の基本を実習も交えて学びました。11月にはさっそく第5回を予定しています。こちらは私が座長を務めますが、「脳卒中患者のケ-

スタディー」をテーマに脳外科、耳鼻咽喉科、歯科の3科からそれぞれ話題提供いただく予定で、今までの集大成と言うべき規模と内容で企画しています。会員ニーズに応える企画によって支部活動の裾野を広げています。

続いて地域の医療・福祉改善運動についてですが、北阪神には宝塚、伊丹それぞれに社会保障をよくする会(=社保協)があり、宝塚では中井先生と脇野先生が副会長に、伊丹では小泉先生が会長の職につき、他の市民団体とともに地域の社会保障改善運動に力を合わせています。中でも中井支部長は宝塚で、後期高齢者医療制度の中止・撤回署名行動に毎回参加し、開業医自らが継続的に街頭宣伝に立っていることは貴重です。今月末には、宝塚で「ヒブワクチンの接種費用助成を求める対市交渉」を予定しており、市民の健康増進のため、開業医の立場から声をあげています。

また、当支部では継続的に新幹事発掘と役員体制の議論を重ねております。これまで北阪神から選出の理事は、支部長の中井通治先生、副支部長の脇野耕一先生、幹事の小泉勇先生の3人でした。今期から副支部長の私も加わって4人の体制になります。1人純増です。私は4年前に支部幹事に就任しまして研究会活動を主に担当して参りましたが、他の先生からのお誘いもあり、この度理事をお引き受けしました。診療では在宅患者も多数抱えており、毎回の理事会への出席は難しいかも知れませんが、何とか調整の上、役割を果たして参りたいと思います。今後も支部総会に向けて新たな支部幹事発掘のための働きかけを強めたいと思います。

このように、当支部では、会員ニーズに即した企画を打ち、市民と結びつきながら運動を進め、新たな役員を発掘する中で活動の幅を広げています。今後も「肩の凝らない幹事会の雰囲気」を大切に支部を活性化させていきたいと考えています。

②憲法改悪阻止の取り組みについて(脇野 耕一先生)

5月2日に58歳で亡くなったロック歌手、忌野清志郎さんは、アースデイ東京2005のコンサートで「この国の憲法9条を知っているかい。戦争はしない。戦争に加担しない。愛と平和なんだ。まるでジョン・レノンの歌みたいじゃないか。世界中に自慢しよう」とアピールしたそうです。

5月3日の朝日新聞の電話による世論調査では、憲法9条を「変えない方がよい」が64%に達し、「変える方がよい」は26%にとどまったこと。憲法改正が「必要」とする人は53%いるが、その中で9条を「変える方がよい」とする人は42%、「変えない方がよい」が49%だったということです。

一方、NHK テレビは、ニュースで、小池百合子元防衛相の講演を放送しました。そこではなんと、北朝鮮やソマリアのことを持ち出して「憲法は、私たちの安全を守るものになっているか」と自問し「安全を守るものになってない」だから「憲法は変えるべきだ」と述べていました。

小池百合子氏の発言の狙いは、9条改正を正面に据えたものであり、国民の中に根強い「9条維持の声」に対する挑戦であることは明らかです。

憲法は、政府の暴走から国民の人権を守るためにあるものです。「私たちの安全」を時の政府が守ってくれないことがあったから、憲法が必要なのです。

そうであるのに、「私たちの安全」という言葉を持ち出して、憲法9条を改正するように世論を導こうとしていることに、半ばあきれ、半ば憤りを覚えました。同時に、こちらも「根強い」改憲勢力の存在を垣間見ました。

宝塚市では、2代連続で、市長が在職中に、逮捕され辞任するという、前代未聞の事態が発生し、急遽、4月19日に「再出直し選挙」が行われました。「宝塚にクリーンな女性市長を！市民の会」が推薦する中川智子さんが、見事、当選しました。憲法を守るたまたかいのうえで、画期的な勝利でした。

③「保険でより良い歯科医療」のため、

医科歯科一体での運動のご協力を(工藤大八郎先生)

歯科医療の現状は、危機的状況にあります。30年間、保険範囲が広がらず、点数も据え置きにされ、この12年間、歯科医療費は2兆500億円台で横ばいのままです。医療費は横ばいのままですが、医療技術が進歩し、高齢化率の高まりで、歯科医療のニーズはますます高まっており、これに対応できるように歯科診療所も増えてきています。歯周病患者は推計すれば5000万人いますが、多くの国民は経済的理由などで受診していません。要介護認定者も年々増えていますが、訪問歯科診療はまだ根付いていません。

最近は糖尿病の管理をはじめ、致命的な疾患に至る高血圧症や動脈硬化、歯性感染症、誤嚥性肺炎、認知症の予防など、全身の健康にとって不可欠な口腔機能の維持のために、医科と歯科との連携がますます重要とされています。

しかしながら、長年続く低医療費政策により、こうした国民のニーズを掘り起こしてこれに応えることができていません。

歯科技工士・衛生士の養成学校が次々と廃校・定員割れとなっており、最近のニュースでは、今年度の私立歯科大・歯学部志願者は例年より半減し、入学者も17校中11校で定員割れを起こしているなど、歯科医療を担う人材も枯渇してしまいかねません。

こうした歯科医療の危機を打開するために、歯科部会では、来年度の診療報酬改定に向けて、政策パンフ『保険でより良い歯科医療を』の全国普及をはかり、患者署名を集めるとともに、兵庫県下の団体・個人に呼びかけて「保険でより良い歯科医療」連絡会を立ち上げる準備をしています。

つきましては、医科・歯科一体の保険医協会の魅力を発揮して、歯科会員の皆様とともに、医科会員の皆様にもぜひ歯科医療の窮状を知っていただき、歯科医療再生の運動にご協力いただきたいです。



④新型インフルエンザ対策について(中井 通治先生)



新型インフルエンザが40カ国、8600人に広がっており、ご承知の通り神戸市、芦屋市、豊中市では学校の休校が決まりました。中国をはじめとして海外とくに途上国では抗ウイルス剤が手に入りづらい状況となっています。幸い、今回の豚インフルエンザはソ連型に類似しており、症状も似ていて抗ウイルス剤が効果があるとのこと。また福岡市医師会では数ヵ月前には診察体制が整ったと聞いています。

兵庫県保険医協会は研究部で6月6日に神戸市立医療センター中央市民病院感染症科部長の春田先生の講演を予定していますが、保険医協会としても対応を考えていく必要があると思います。

職員接遇研修会・感想紹介

北阪神支部は4月18日、伊丹商工プラザで大阪国際大学短期大学部教授の油谷純子先生を講師に職員接遇研修会「信頼関係を築くコミュニケーション能力の向上」を開催し、14医療機関から28人が参加した(前号既報)。以下、アンケートの感想を紹介する。

<28人中27人回答>

- ◆非常に参考になった 18
- ◆参考になった 8
- ◆まあまあ 1

○主な感想

- ・いろんな場面での具体的なご指導をいただき、またユーモアを交えてのお話でとても楽しく、わかりやすかった。
- ・毎日当たり前になっていることをもう一度初心に戻って、新鮮な気持ちで実行したいと思う。
- ・ゲームなどもあり楽しく講義を受けることができました。
- ・電話対応など、わかっているつもりだったことが勉強になった。
- ・自分を見直す機会になりました。明日からの仕事に活かしていきたい。

○日頃患者さんとの対応で苦労や工夫されていること

- ・わがままな患者さんがおられるが、コミュニケーション不足を感じる。
- ・ご年配の方にお話が伝わらず、聞き出すのに苦労する。
- ・相手が具合が悪いというのを頭に入れて行動しているつもりだ。
- ・患者様の顔を早く覚えるよう心がけている。
- ・電話が苦手。常に笑顔で心がけていると攻撃されることが減った。
- ・どのような患者様でも満足していただけるよう心がけている。